



宝塚市立良元小学校 学校通信

良元通信

家庭数配布

みんなにとって良いことを みんなが元気になることを 令和5年(2023)11月24日号
校長 狩野 洋光

みんなが^{しあわ}幸せになることを② ~ いじめ^{ゼロ}0に向けて^む

2011年、滋賀県で中学2年生の生徒が、いじめにより亡くなるという大変悲しい出来事がありました。2016年、宝塚市でも大切な命が、いじめにより失われています。いじめの被害は、心身に大きな影響を与えます。最悪の場合、命を奪います。

2013年には、社会総がかりで、いじめに向き合い、対処していくために「いじめ防止対策推進法」という法律ができました。いじめに勝者はありません。いじめの関係者、全員が傷つきます。子どもたちがいじめにより傷つくことがないように、学校、保護者、地域が協力して、いじめ防止に取り組む必要があります。法律では、それぞれの役割が明記されています。

学校の責務(いじめ防止対策推進法 第8条 簡略化しています)

学校、児童等の保護者、地域住民、その他関係者との連携を図りつつ、学校全体でいじめの防止及び早期発見に取り組むとともに、児童がいじめを受けていると思われるときは、適切かつ迅速にこれに対処する責務を有する。

保護者の責務(同法 第9条 簡略化しています)

保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、児童がいじめを行うことのないよう、児童に対し、規範意識を養うための指導その他の必要な指導を行うよう努めるものとする。

いじめが起きたときには、いじめの解決に向けて、学校と保護者が協力して立ち向かう必要があります。子どもたちは、学校生活を通して、人とのかかわり方を学んでいます。一人一人が生きたいように生きるためには、衝突することもあります。衝突を

きっかけに^{たいわ}対話し、^お折り合いをつける^{ちから}力を^み身につけていきます。しかし、^{ばあい}場合によっては、^{しょうとつ}衝突がいじめとなることもあります。いじめをはじめ、^こ子ども^{どうし}同士の^おトラブルが起こったときには、^{じょうきよう}状況を^き聞き取り、^こ子ども^{かんが}たちに^{たいせつ}考えさせることが大切です。どうすればよかったのか^{かんが}考える^{きかい}機会となるよう^{まわ}周りの^{おとな}大人の^{みまも}見守りと^{てきせつ}適切な^{しえん}支援も^{ひつよう}必要となります。^こ子どもの^{しあわ}幸せのために、^{かんが}いっしょに^{かんが}考えていきましょう。

ここからは、お子さんといっしょにお読みください

いじめ、^{さべつ}差別をなくすために、^{しあわ}みんなが^{しあわ}幸せになるために、^きふだんから^き気をつけてほしいことは、^{ぜんかい}前回の^{じんけんひょうご}人権標語の^{とお}通りです。再掲しますので、^{さいけい}ご一読^{いちどく}ください。

◎^{ことば}言葉を^{たいせつ}大切に

^{ことば}あなたの^{ことば}言葉は ^{かがみ}あなたの^{かがみ}鏡 (6年 Wさん)
^{かんが}考えて ^{きみ}君の^{ひとこと}一言 ^{ことば}その^{ことば}言葉 (6年 Sさん)
^{ことば}その^{いのち}言葉 ^{うばう}命を^{ことば}奪う ^{ことば}言葉かも (6年 Iさん)

わたしとあなたを^{しあわ}幸せにする^{ことば}言葉もあれば、^{ふこう}不幸にする^{ことば}言葉もあります。^{かんじょう}感情のままに^{はな}話す^{ことば}言葉や、よく^{かんが}考えないで^{はな}話す^{ことば}言葉が、^{あいて}相手を^{きず}傷つける^{あいて}かもしれません。サヘル・ローズさんの^{びょうま}「3秒^{はな}待って^{だいじ}話す」ことが^{おな}大事^{おな}ですね。SNS や^{おな}ラインも^{おな}同じです。また、^{りゆう}いじめても^{りゆう}いい理由というものは、ありません。

「^{ことば}きしよい」「^こきもい」という^{ことば}言葉を、^こ子ども^{くち}たちが^き口に^きするのを^き聞くことがあります。^{つか}使って^{ことば}ほしくない^{つか}言葉です。^な使い^な慣れて^なしまうと、^なだれか^なを^ないじめたり、^な馬鹿^なにしたりと^ないった^な言動^なへの^なハードル^なが^な低^なくなる^なからです。

^{ともだち}友達と ^{ことば}ふわふわ^{ことば}言葉を ^{ことば}つなげよう (5年 Hさん)

^{ことば}いい^{つか}言葉^{つか}を使おう!

「みんなにとって^よ良い^よことを ^{げんき}みんなが^{げんき}元気になる^{げんき}ことを」を^{あいことば}合言葉に、^{たいせつ}みんなの^{たいせつ}ウェルビーイング^{たいせつ}を大切に^{たいせつ}して^{たいせつ}いきましょう。

^{えがお}笑顔は^{れんさ}連鎖^{れんさ}します」

^{かんしゃ}感謝^{ひと}をする^{しあわ}人は^{しあわ}幸せ

^{しあわ}幸せの^{いんし}4つの^{いんし}因子

「やってみよう!」 「ありがとう!」

「なんとかなる!」 「ありのままに!」